

NPO 法人 横浜港南国際交流の会

令和 6 年 通常総会議事録

1. 日時 : 令和 6 年 6 月 23 日 (日) 13 時 00 分～14 時 25 分
2. 会場 : 横浜市港南国際交流ラウンジ研修室
オンライン中継 (視聴のみで、表決や発言は不可) を行った。
3. 正会員数 : 151 名
4. 正会員出席者数 : 113 名 (内訳: 当日の出席者 22 名、事前の書面表決者 52 名、議長への委任表明者 39 名) ZOOM 視聴者 2 名
5. 議題
 - 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告について
 - 第 2 号議案 令和 4 年度決算報告について
 - 第 3 号議案 令和 5 年度事業計画について
 - 第 4 号議案 令和 5 年度活動予算案について
 - 第 5 号議案 任期満了に伴う役員改選案について
6. 議事経過および結果
 - (1) 13 時 00 分に司会の播磨副理事長の開会宣言で、令和 6 年通常総会が開始した。
 - (2) 鶴田理事長より以下のご挨拶があった。

「企業は 30 年も経つと衰退し、いろいろな変化に見舞われる」とよく言われるが、当 NPO 法人も、令和 4 年度にはラウンジ運営管理業務の受託において、はじめてプロポーザル型公募の審査を経験し、令和 5 年度には委託事業の一部を変更することとなった。さらに令和 6 年度には移転が予定されており、それらの変化に適応していかなければならない。移転については、会員の皆様の意向に基づき、上大岡近辺を要望する旨を港南区へ伝えているが、ご報告できるような進展はまだない。移転先が決まったら速やかに報告する。また事業計画の見直し等が必要になった際には、ご協力をお願いしたい。
 - (3) 定款第 26 条に従い、司会者は議長の立候補者がいないことを確認した後、議長に鶴田理事長を推薦し、満場一致で選任された。
 - (4) 議長は、定款 27 条に従い、君嶋事務局長から出席者数が正会員数の過半数であることを確認し、本総会が成立したことを報告した。
 - (5) 議長は、君嶋事務局長を書記に推薦し、満場一致で選任された。
 - (6) 議長は、定款第 30 条第 2 項に基づき、議事録署名人に小倉副理事長と播磨副理事長を推薦し、満場一致で選任された。
 - (7) 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告について
小倉副理事長より説明が行われた。なお、総会資料第 1 号議案の 1.1.2 自主事業 6) その他の記載について、以下の修正を示した。
 - ・能登震災の募金額は 87,570 円であった。
 - ・桜道コミュニティハウスでなく、上大岡コミュニティハウスであった。議長が質問、意見を伺い、次の質疑応答が行われた。

質問 1 : ラウンジ祭りが委託事業に加わったのは、予算増があったからか？
回答 1 : そうではなく、港南区委託事業の要求仕様のひとつ、外国人住民と日本人住民の交流を語るイベントとして、ラウンジ祭りが選択されたということである。

続いて議長が承認を伺い、満場一致で可決承認された。(書面表決者 52 名全員賛成、議長への委任表明者 39 名)

(8) 第 2 号議案 令和 5 年度決算報告について

君嶋事務局長から説明が行われた。なお、書面表決のはがきにて、会計関連資料がわかりにくいとのご意見をいただいたので、それを踏まえて時間をかけて説明された。その後、荻莊監事から、監査において業務並びに会計が適正に執行・処理されていたことを確認したことが報告された。

次に議長が質問、意見を伺い、次の質疑応答が行われた。

質問 1：固定資産の記載がないが？

回答 1：該当するものがないためである。

続いて議長が承認を伺い、異議なく満場一致で可決承認された。(書面表決者 52 名全員賛成、議長への委任表明者 39 名)

(9) 第 3 号議案 令和 5 年度事業計画について

小倉副理事長から説明が行われた後、議長が質問、意見を伺い、次の質疑応答が行われた。

質問 1：音楽を通しての交流イベント企画や教育はないか？

回答 1：音楽を前面に出したものはないが、事業企画部会のイベントの中には、ウクレレ演奏を楽しみながら交流するものなどが行われている。また、学校等で国際理解を目的に、舞踊などの外国文化を紹介するイベントも行っており、教育活動の一環でもある。

続いて議長が承認を伺ったところ、異議なく満場一致で可決承認された。(書面表決者 52 名全員賛成、議長への委任表明者 39 名)

(10) 第 4 号議案 令和 5 年度活動予算案について

君嶋事務局長から予算案について、物価高、移転作業へ考慮したことに触れながら、説明された。次に議長が質問、意見を伺い、次の質疑応答が行われた。

質問 1：物価高等への対応するために、協力費や参加料などの値上げは考えられていないのか？

回答 1：状況によっては考慮しなければならなくなるであろう。これまでも各部会では、赤字にならないよう必要最低限の料金値上げが行われてきている。

続いて議長が承認を伺い、異議なく満場一致で可決承認された。(書面表決者 52 名全員賛成、議長への委任表明者 39 名)

(11) 第 5 号議案 任期満了に伴う役員改選案について

小倉副理事長から説明が行われ、質問、意見を伺ったが、特に出ず、続いて承認を伺ったところ、満場一致で可決承認された。(書面表決者のうち 51 名賛成、議長への委任表明者 39 名)

選任された理事と監事は以下のとおり。

理事 鶴田 静男 (重任)

理事 小倉 恵 (重任)

理事 諏訪部 博道 (重任)

理事 土屋 正敏 (重任)

理事 松田 美恵 (重任)

理事 邵 芳 (重任)

理事 君嶋 哲也 (重任)

理事 岩松 勝義 (新任)

理事 森本 江利子 (新任)

理事 中村 真由美 (新任)
理事 小山 まゆみ (新任)
理事 米永 乃里子 (新任)
監事 山口 さち子 (重任)
監事 播磨 和男 (新任)

(12) 上記を以って議事がすべて終了し、議長は退任した。

(13) 北見賞表彰式

鶴田理事から、第9回北見賞受賞者の紹介が行われ、表彰状と記念品が授与された。

受賞者 佐野知子氏

(14) 新任、退任役員の紹介と挨拶

前記の新任役員と、退任される播磨副理事長、石井理事、荻荘監事（原田理事、岸理事、傳理事は欠席）が、ご挨拶された。

(15) 司会者から閉会が宣言され、総会は終了した。

上記の結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人において次に記名押印する。

令和6年6月23日

NPO 法人 横浜港南国際交流の会 通常総会

議 長 鶴田 静男 印

議事録署名人 播磨 和男 印

議事録署名人 小倉 恵 印